

私立 鈴鹿医療科学大学

取組名称 病院・施設等への就職者数増加を目指すプログラム

取組担当者 大学事務局 学生支援課 課長 樋口 光則

1. 本学の概要

鈴鹿医療科学大学は、1991(平成3)年4月に「科学技術の進歩を、真に人類の福祉と健康の向上に役立たせる」という建学の精神の下に開設された(設立当初の名称は、「鈴鹿医療科学技術大学」)。日本で最初の「チーム医療」を支えることのできるコ・メディカル人材養成の四年制大学として、保健衛生学部放射線技術科学科及び医療栄養学科、医用工学部に医用電子工学科及び医用情報工学科の2学部4学科を開設した。

1996(平成8)年には、大学院医療画像情報学研究所を開設した。

1998(平成10)年には、大学名称を「鈴鹿医療科学大学」に変更した。

2002(平成14)年には、保健衛生学部理学療法学科を設置し、同時に、医用工学部の医用電子工学科を臨床工学科に名称変更した。

2004(平成16)年には、保健衛生学部医療福祉学科を設置し、同時に、鍼灸学部鍼灸学科を設置した。

2008(平成20)年には、薬学部薬学科(6年制)を白子キャンパス(新設)に開設し、医療福祉学科に「保育士養成課程」を設置した。

2009(平成21)年には、社会人の診療放射線技師を対象とした大学院東京サテライト・キャンパスを開設した。

2010(平成22)年には、大学院の研究科名を医療科学研究科とし、新設の薬学部以外の全ての本学学部卒業生が進学可能となっている。

現在は千代崎キャンパスに保健衛生学部、医用工学部、鍼灸学部、大学院、白子キャンパスに薬学部がある医療福祉系の総合大学であり、学生数は、大学院生を含めて1,890名である(2010(平成22)年5月1日現在)。又、薬学部が完成年度を迎える2013(平成25)年には、収容定員が2,257名となる。

「知性と人間性を兼ね備えた医療・福祉スペシャリストの育成」という教育理念の下、5つの教育目標(①高度な知識と技能を修得する、②幅広い教養を身につ

ける、③思いやりの心を育む、④高い倫理観を持つ、⑤チーム医療に貢献する)を掲げ、それぞれの学部・学科が独自性を生かすとともに、他の医療分野との連携を可能にし、21世紀に求められる新しいタイプの医療人を養成している。

2. 本取組の概要

昨今の経済状況の悪化による厳しい雇用環境の中、本学は90%以上という、高い就職実績を維持している(図1)。

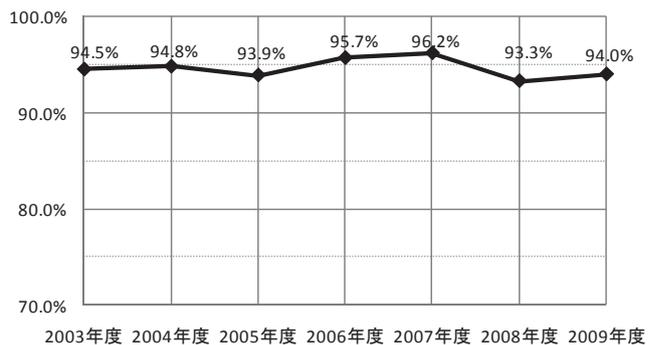


図1 就職内定率(過去7年間)

しかし、大学全体の就職実績は90%以上を保っているものの、本学学生の就職で、圧倒的に希望者数が多い病院・施設等の医療機関への内定率は、過去7年間で81%であり(図2)、学科別に見ると、病院・施設等医療機関への就職率が80%以上である学科は、放射線技術科学科、理学療法学科、臨床工学科の3学科のみとなっている(図3)。そのため、必ずしも学生の志望を十分にはかなえているとは言い難いのが現状である。よって、今まで以上に、病院・施設等に就職したいと思う学生の希望にあった就職先を斡旋することが今後の課題である。

尚、ここでいう内定率は、内定者数を就職希望者数(卒業生数から進学者数と家事手伝等の就職・進学活動を行わない者を減じた数)で除した値である。

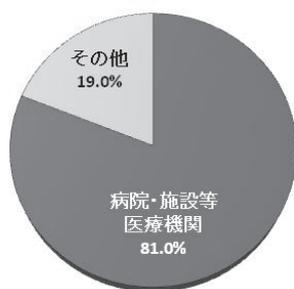


図2 業種別内定率（過去7年間）

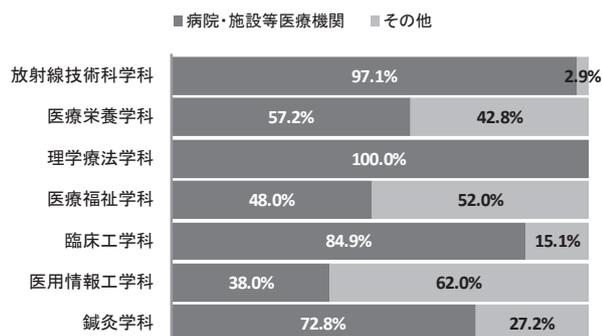


図3 学科別の就職先（過去5年間）

そこで本学では、学生の病院・施設等への就職希望を、よりかなえるために、本プログラムを実施することとした。

前述のように、本学では、学生が入学時から就職希望先を明確に持っているため、低学年からの病院・施設等での職場体験を積極的に行ってきた。以前は、学生から申し出があった場合に、見学先への依頼を行ってきたが、現在は、積極的に見学を促すこととしている。

又、目標を達成するためにも、外部講師を積極的に登用し、病院人事担当者による講演会や、病院への就職活動を始めるための心構えを学ぶガイダンス、医療人としての資質を高めるためのプログラムも開設している。加えて、一般教養対策講座、論作文対策、性格診断も実施している。

実施体制としては、全学科から代表教員が参加するキャリア支援委員会による支援体制を整備し、すでに活動している。今後は、学生アンケート等を参考に、実施運営及び評価の確認を行う予定である。

3. 本取組の趣旨・目的・達成目標

(1) 本取組の趣旨・目的

本学は、医療系の4学部8学科を開設し、入学時は95%の学生が病院・施設等医療機関への就職を希望しているが、卒業時には、就職者の81%に留まっている。

現状を生み出している原因としては、図3のように、学科間で病院・施設等への就職率に差があり、特に医療栄養学科、医療福祉学科、医用情報工学科の3学科で60%に満たないためであると考えられる。本取組は、医療人としての資質向上を目指す中で、職場体験等のプログラムを通して、就職支援体制の強化を図るものである。

(2) 達成目標

本取組は、入学時の就職志望をかなえるものであることは言うまでもないが、図3のように、理学療法学科、放射線技術科学科、臨床工学科については、病院・施設等への就職先が80%以上となっている。又、入学時に、殆どの学生が病院・施設等への就職を希望していても、本学の教育が、学科によっては、広範囲の職種に対応可能であることが特色でもあるため、学生の希望先が変更となる場合もある。よって本取組では、病院・施設等への就職率を全体で90%とすることを目指すことを目標とし、病院・施設等への就職率を増加させつつ、学生の希望の変化に迅速に対応できる体制を取りたいと考えている。

4. 本取組の具体的内容・実施体制

本取組の目標を達成するため、以下の取組を実施した。

(1) 臨床実習指導者会議（3年生対象）

臨床実習指導者会議を開催し、臨床実習を円滑に進めるために、実習指導者に実習全般について説明することにより、大学の方針を理解して頂いた。また、実習指導者との意見交換、学生との面談も行い、より教育効果の高い臨床実習を目指した。

(2) マナー・面接試験対策講座（3年生対象）

働く意味、ビジネスマナーの必要性、面接に向けてのアドバイス、礼の仕方をはじめとして、採用面接の時に身につけておきたい知識とマナーを学んだ。それにより、今後の就職活動に対する意欲を高めることができた。

(3) 求人情報配信システム説明会（3年生対象）

企業が求人情報をインターネット上で配信し、大学が学生に公開するシステムを利用した。これにより、大学側が、就職ガイダンスやキャリア相談、進路希望の登録等が可能になるとともに、企業ごとのエントリ

一、セミナー応募状況が把握できるなど、個々の学生の活動状況に即した、より具体的なキャリア支援を行うことができた。今後、学生が今まで以上に積極的に病院・施設等への求人検索を行い、学生個々に対応した就職指導を行うことを容易にすることによって、就職率向上に繋がっていくものと考えている。

(4) 内定者報告会（3年生対象）

4年生の就職活動の体験談を聞き、反省点・成功事例を吸収することにより、これからの就職活動を実のあるものにするため、内定者報告会を開催した。今後は3年生のみでなく、低学年にも対象を広げる予定である。それにより、低学年から病院・施設等への就職意欲を醸成し、就職率向上に繋ぐことができると考えている。

(5) 求人依頼文・求人案内パンフ・求人票3点封入一括配送

図4のように、本学の学生は全国から入学しており、Uターン就職希望者が多く、それに対応している。

本プログラムの目標達成のためには、求人件数を増加させることが重要である。そこで、求人依頼文・求人案内パンフ・求人票の3点を封入して、全国3,459件の病院・施設等へ一括配送した。

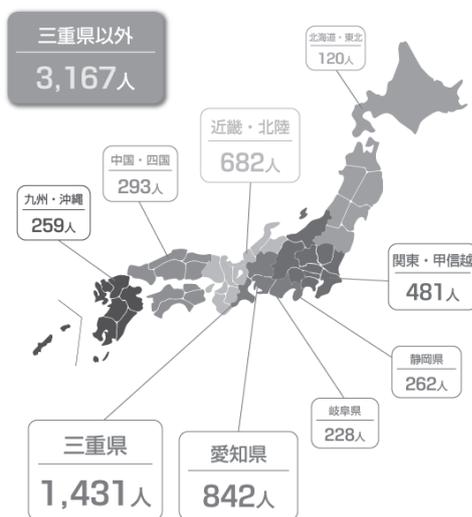


図4 地域別就職者数（開学以来）

(6) キャリア支援委員会

各学科の教員1名で構成したキャリア支援委員会を設置し、「医療人としての資質を高めるためのプログラム」の構築に向けて検討を開始した。今後もキャリア支援委員会での検討を経て、年間数回ほどのプログラム実施により、医療人としての資質の向上を図る計

画である。

尚、本学では、Uターン就職希望者のために、学生が地元で実習を希望する病院・施設等に新規で実習を依頼し、それを結果として就職に繋げてきた実績もある。

又、以前から設置している就職資料室に加え、写真1のコーナーを大学事務局内に併設し、学生の要望に迅速に対応できるようにした。



写真1 学生支援コーナー（大学事務局併設）

5. 本取組の評価体制・評価方法

(1) 取組の評価体制

講演会、ガイダンス、職場体験等の取組後は、学生アンケートを実施し、キャリア支援委員会で効果の検証を行う。

(2) 達成目標に対する達成度についての指標

本取組では、病院・施設等への就職率を全体で90%とすることが目標であり、目標達成の指標となる。

6. 本取組の実施計画等

2009(平成21)年度に実施した事業の継続も含めて、2010(平成22)年度には以下の事業を実施したいと考えている。

尚、実施については、時期・内容等についての検証を行いつつ、より効果的に実施することにより、本取組の目的を達成することを目指したい。

- 4月 論作文対策講座（4年生対象）
パンフレット作成
「医療人としての資質を高めるためのプログラム」（1～3年生対象）
- 5月 キャリアガイダンス(就職を始めるにあたっ

事例44◆ 鈴鹿医療科学大学

| | | |
|-----|------------------------------|-----------|
| | て) | (3年生対象) |
| 6月 | 病院人事担当者による講演会 | (4年生対象) |
| | 臨床実習指導者会議 | (3年生対象) |
| 7月 | 論作文対策講座 | (4年生対象) |
| | SPI・NAAIP模擬試験 | (3年生対象) |
| 8月 | 「医療人としての資質を高めるためのプログラム」 | (1～3年生対象) |
| | 就職相談員の資質向上 | |
| 9月 | 論作文対策講座 | (4年生対象) |
| | 就職相談員の資質向上 | |
| | 低学年の職場体験 | (1・2年生対象) |
| 10月 | 「医療人としての資質を高めるためのプログラム」 | (1～3年生対象) |
| | 自己分析及び、履歴書・エントリーシート・志望動機書の作成 | (3年生対象) |
| | 一般教養対策講座 | (3年生対象) |
| 11月 | パンフレット作成 | |
| | 一般教養対策講座 | (3年生対象) |
| | 就職相談会参加 | (3年生対象) |
| 12月 | 「医療人としての資質を高めるためのプログラム」 | (1～3年生対象) |
| | 就職相談員の資質向上 | |
| | 就職相談会参加 | (3年生対象) |
| | 一般教養対策講座 | (3年生対象) |
| | 病院への就職活動を始めるにあたってのガイダンス | (3年生対象) |
| | メイク講座・マナー講座 | (3年生対象) |
| | 就職アンケートのデータ化 | (3年生対象) |
| 1月 | 就活マニュアル作成 | (3年生対象) |
| | 就職相談会参加 | (3年生対象) |
| 2月 | 臨床実習指導者会議 | (3年生対象) |
| | マナー・面接試験対策講座 | (3年生対象) |
| | 就職アンケートのデータ化 | (3年生対象) |
| | 内定者報告会の開催 | (1～3年生対象) |
| | 求人情報配信システム説明会の開催 | (3年生対象) |
| 3月 | 求人依頼文・求人案内パンフ・求人票 | 一括配送 |

2011(平成23)年度以降も、外部講師を積極的に登用し、病院人事担当者による講演会や、病院への就職活動を開始するための心構えを学ぶガイダンス、医療人としての資質を高めるためのプログラムも継続し、併せて一般教養対策講座、論作文対策、性格診断も実施する。